

浮野小学校と平田小学校の統合(案)について

浮野小学校では、児童数が減少し、学校規模の小規模化が進んでいます。
そして今後も、小規模の状況が継続していく見込みです。

教育委員会では、子どもたちにとってより充実した教育環境となるよう、
浮野小学校、平田小学校の2校を統合し、望ましい学校規模を確保する
ことを検討しています。

今回、検討中の統合案の概要をお知らせいたします。

説明動画もご用意しました。右の二次元コードからご視聴いただけます👉

※後日、各校において、ご意見をうかがう場を設けることを予定しています。



1 学校規模の考え方

01 「小規模校」ってどのような学校なの？

		11 12		24 25	30 31(学級数)
小学校	小規模	望ましい規模	大規模	過大規模	
中学校	小規模	望ましい規模	大規模	過大規模	
	5 6	8 9	18 19	24 25	30 31(学級数)

名古屋市では、小学校ではクラス替えのできない学年が生じる**11学級以下**、中学校では**5学級以下**の学校を「小規模校」と考えています。浮野小学校(6学級)は小規模校に該当します。

02 小規模校のよいところ・困ることは？

小規模校の「よいところ」は？

一人一人の
活躍の場が多い
みんなが主役

職員の目がよく届く
アットホームな雰囲気

盛んな異学年交流
縦割り活動が盛ん

学級数が
少ないので施設を
ゆったり使える

小規模校の「困ること」は？

行事がさびしく、
教育効果が下がる

多様な考えに
出会える機会が
少ない

クラス替えができないと
人間関係でトラブルが
あった場合に、
嫌な気持ちを
抱いたまま、
我慢させてしまう

ずっと同じ顔ぶれ
だと、新しい気持ちで
頑張ろうという
思いや、切磋琢磨
する気持ちに
なりづらい

男女比のかたよりが
生じやすい

集団学習、
グループ活動などに
制約が出る

名古屋市教育委員会事務局教育環境整備課

電話:052-972-3282 FAX:052-972-4176 E-MAIL:a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

2 統合の方向性

01 どのような統合を検討しているの？

○浮野小学校は小規模校であり、下の表のとおり
今後さらに児童数が減っていく見込みであるため、
浮野小学校と平田小学校の統合を検討しています。
統合場所は現在の平田小学校の場所を考えています。



■なぜこの組み合わせなの？

浮野小学校と平田小学校は、同じ平田中学校ブロックの中にあります。
浮野小学校は名古屋市域の北西端に位置するため、隣接する平田小学校が
統合の相手校として最適です。
浮野小学校は、平田小学校から分離新設された経緯があります。

■なぜ統合校の位置を平田小学校の場所にするの？

統合をした場合の通学区域は、現在の浮野小学校及び平田小学校の通学区域を
合わせたものとなります。
平田小学校が、統合された通学区域の中央に位置するため、平田小学校の場所が
よりよいと考えます。

■平田中学校も一緒にして小中併設型の学校は考えられないの？

平田中学校を統合に含めると人数が大規模になりすぎてしまいます。平田中学校も含めて、
適正規模の人数になる時期を待つ間に、浮野小学校の小規模化が深刻になってしまいます。

	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
浮野小	143人 6学級	144人 6学級	145人 6学級	135人 6学級	122人 6学級	126人 6学級	110人 6学級
平田小	539人 19学級	564人 20学級	566人 19学級	550人 18学級	523人 18学級	491人 18学級	460人 17学級
2校の統合を 想定した場合	682人 23学級	708人 25学級	711人 25学級	685人 23学級	645人 22学級	617人 22学級	570人 21学級

※特別支援学級は、設置基準が異なることから、ここで示す数には含めていません。

02 統合したら、どこに通学することになるの？遠くないの？

○新しい校舎を工事する間は、安全な学校生活の確保のため、いったん浮野小学校の場所で
統合校を運営することを検討しています。3年程度かけて、平田小学校の場所に新しい校舎を
整備し、完成後に新校舎に通うことを想定しています。
具体的な見通しは、「3 今後のスケジュールについて」をご参照ください。

○名古屋市では、小中学校の通学は徒歩を基本とし、距離は小学校は2km、中学校は3kmを目安
とします。浮野小、平田小の通学区域のうち平田小学校までの距離が最も遠い地域でも、市の
基準の通学距離である2km以内となります。次のページの地図をご参照ください。

通学区域・通学距離



※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育委員会事務局教育環境整備課が加工して作成したものです。

03 通学路の安全は大丈夫なの？

統合の決定後、統合校の開校に向けて、安全点検や地域・交通状況などの特性を踏まえて新しい通学路を設定するとともに、必要な安全対策について関係行政機関と連携を図り、通学の安全確保に取り組みます。

(これまでの取組みの例)

歩行者用信号機の時間調整、ガードレールなどの安全施設設置、
注意標識設置、交通指導員配置、通学練習会実施など



04 浮野小学校の跡地はどうなるの？

跡地活用の検討は、統合決定後に始まります。避難所機能と地域の活動の場に配慮しながら、教育委員会だけでなく市の他部局も一緒に、どのような活用ができるかを検討します。過去の跡地活用では、私立学校や区役所、シェアオフィスなどの例があります。

05 学区の地域の活動はどうなるの？

小学校が統合しても、2つの学区のまま地域の活動を継続できます。



06 統合したら、どんな校舎になるの？

平田小学校の校舎を改築または改修して、新しい学びに対応する充実した教育環境や防災機能を兼ね備えた新しい校舎を整備する予定です。

【参 考】 統合校の校舎のイメージ ※西区なごや小学校

下の写真は西区のなごや小学校です。なごや小学校は平成27年に幅下小学校・那古野小学校・江西小学校の3校が統合し、開校しました。



【従来の1.5倍の広さの教室】



【居心地の良いゆったりとした図書室】



【木のぬくもりが感じられる内装】



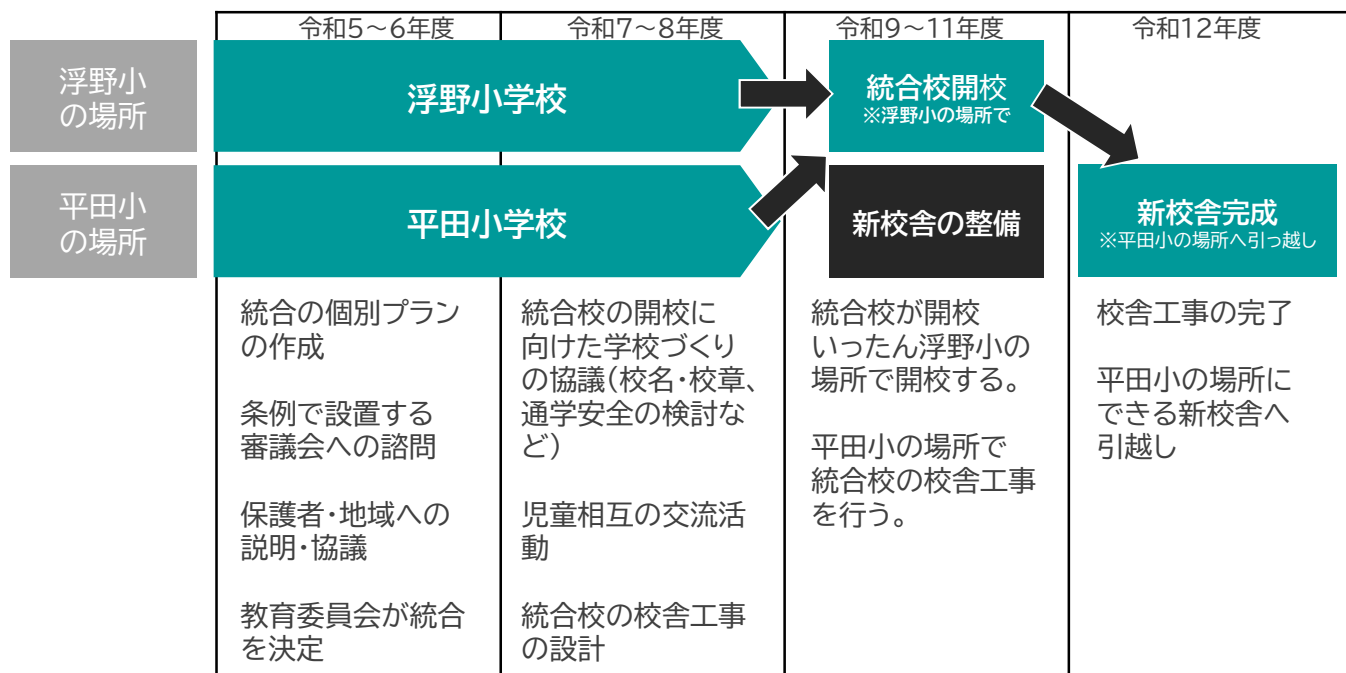
【明るいトイレ 多機能トイレも併設】



【エレベーター】

3 今後のスケジュール(想定)

これまでの統合の先行事例を踏まえ、最短で進んだ場合を想定したスケジュールです。



作業用スライド
※印刷しない



